

# JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	安田 クリスチーナ
フリガナ*	ヤスタ クリスチーナ
所属団体*	NPO法人 InternetBar.org Insitutte
活動内容* (200 文字以内)	貧困層も含む誰もが、世界中のあらゆる機会に公平にアクセスすることができる世界を作るために、その未来を実現するための社会インフラである電子身分証明を途上国において整備しています。バングラデシュやザンビアでの医療分野と教育分野における実証実験を通して、分散型台帳技術を要素技術の一つとした技術アーキテクチャの社会実装、および新しい電子身分証明のガバナンスフレームワークなどの枠組み整備を目指しています。(199字)
活動カテゴリー*	<input type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input checked="" type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> □その他( )
紹介者氏名	黒澤 亮
紹介者所属団体	一般社団法人藤岡青年会議所
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	青年会議所会員からの推薦(藤岡青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア( )・その他( )
紹介理由 (200 文字以内)	安田氏は、大手 IT 企業に属しながらも、アメリカ NGO「InternetBar.org」の理事として、バングラデシュを舞台に難民のために電子証明書の発行を目指す「デジタル・アイデンティティ」事業を展開しています。経歴を見てもグローバルエリートとしてご活躍されており、ご自身の知識や経験を活かした活動がまさにSDGsにも合致しており、これからの世界を背負って立つ人財であることは間違いありません。このような人物を紹介させていただけること自体がとても光栄であり、TOYPとして必ず活躍していただけると強く推薦及び紹介させていただきます。

顔写真\*

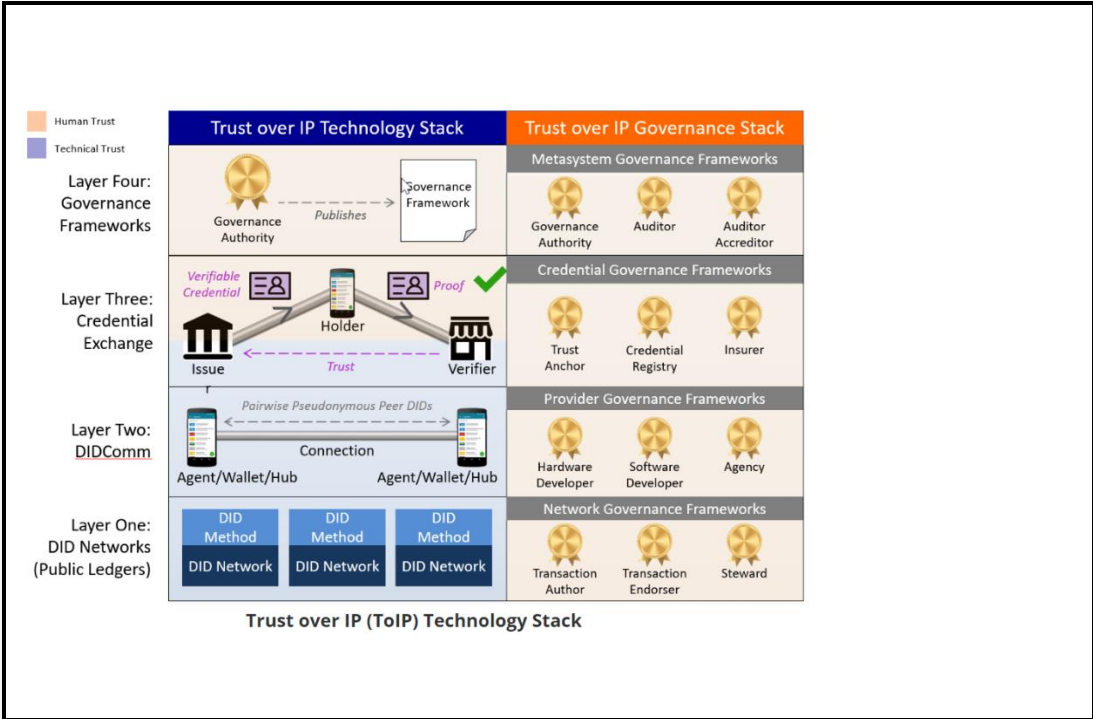


経歴  
(200 文字以内)

2017年6月・・・パリ政治学院 首席卒業  
2017年8月・・・アクセントゥア戦略コンサルティング本部 新卒入社  
2018年9月・・・InternetBar.org Institute 理事就任  
2018年12月・・・アクセントゥア戦略コンサルティング本部 最速昇進  
2019年6月・・・マイクロソフト・コーポレーション Cloud + AI 本部 転職  
2019年1月・・・MyDataGlobal 理事就任  
2019年2月・・・マイクロソフト・コーポレーション アイデンティティ規格本部 転職  
(191字)

活動PR1\*  
(200 文字以内)

社会課題解決に最先端技術を用いております。実証実験で利用している電子身分証明の技術アーキテクチャのレイヤー1に分散型台帳技術を採用することで、1つの中央集権的な権威に依存しない、政府機関・国際 NGO・民間企業など複数のエンティティが関与する身分証明の在り方を開拓しています。また、レイヤー2で P2P の通信プロトコルを採用することで、仲介人への依存を無くし、セキュリティ向上や新しい UX の創出に挑戦しています。(199字)



活動PR2\*  
(200 文字以内)

技術だけが先行して存在しても、それが社会で使われる枠組みが整理されていなければ、社会実装は進まないため、InternetBar.org Institute ではステークホルダーの合意形成を通じたガバナンスモデルの整備に力を入れています。標準化に取り組む機関のエキスパートをアドバイザーに迎え、ISO TC-309 ワーキンググループの議論に貢献したり、MyData Global のコミュニティとコラボレーションしたり、W3C のメンバーであるパートナーと共同リサーチをしたりしています。(188字)

活動PR3\*  
(200 文字以内)

各実証実験終了後も現場で活動が継続する仕組みづくりを徹底し、各取り組みの持続可能性・継続性を担保するように努めています。InternetBar.org Institute の15年間の活動歴によって培われた現場との強固なリレーションや途上国支援のノウハウを活かして、発行した電子身分証明書の利用先を必ず確保するようにし、私たちの NGO が現場からいなくなった後もサポートを継続してくれる強力なパートナーを現地で見つけるようにするなどの工夫をしています。(199字)

SDGsのゴールと  
ターゲット番号及び  
結びつきの説明

番号の記入( 16 平和と公正をすべての人に )  
(16. 9: 2030年までに、すべての人々に出生登録を含む法的な身分証明を提供する。 )  
説明( いままで身分証明手段を持ち合わせていなかった方に身分証明手段を提供しております。 )

■ 質問事項 (全200文字以内厳守)

質問1\*  
(200 文字以内)

活動を始めたきっかけを教えてください

幼少期から日本と海外を行き来する場面が多く、パスポートなどの法的な身分証明が、出入国や社会保障など、自分や家族の生活に与えている多大な影響について考えながら育ちました。途上国支援に関わりながら、様々なデジタルツールの浸透を経験していく過程で、オンライン上の身分証明が整備されていないことによる機会損失に気づいたことが、自分が作りたい世界の実現に向けてまずは電子身分証明に取り組もうと決めたきっかけです。(199字)

質問2* (200 文字以内)	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>最終的に作りたいのは、貧困層も含む誰もが、世界中のあらゆる機会に公平にアクセスすることができる未来です。電子身分証明という社会インフラが整えば、プリペイドの SIM カードを購入しようにも、求められる身分証明書類が揃わないために、インターネットに接続できなかった方でも、テクノロジーの民主化の恩恵を受けられるようになり、世界中で新たな価値創造が生まれるようになるのです。(181字)</p>
質問3* (200 文字以内)	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>分散型台帳技術を要素技術の一つとした身分証明手段の技術アーキテクチャの社会実装に取り組みながら、新しい電子身分証明のガバナンスフレームワークなどの枠組み整備を進めています。2019年にはバングラデシュで医師資格の証明を効率化するための電子証明書の発行を行いました。2020年は、ザンビアにおける雇用獲得を支援するために、スキルの証明を効率化するための電子証明の発行に取り組んでいます。(193字)</p>
質問4* (200 文字以内)	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>少人数ながら、バングラデシュやザンビアの方々に新しい機会を創出しているだけでなく、分散型身分証明技術のコミュニティに対して実際のプロジェクトからのフィードバックを伝えることで、この多大な可能性を秘めた新興技術の社会実装の早期化に貢献しています。また、セキュリティ、プライバシー、自由権に直結している身分証明の啓蒙活動を通して、現実世界とデジタル世界における自己に関する健全な議論に寄与しています。(199字)</p>
質問5* (200 文字以内)	<p>異なる形態の組織において管理職を勤めてきた経験から、①進むべき道・ビジョンを明確に示し、②巻き込み力・カリスマ性で周りをやる気にさせ、③物事を実際に前進させ成果を出す、この3つがリーダーシップの根幹にあるべきだと考えます。グロースマインドセットを忘れずに、互いに共感・協力し合えるチームを構築できるリーダーが、規模や業態に関わらず、顧客と組織に対して最大限の価値創造をできているように思います。(197字)</p>

■ 推薦者情報

ブロック名*	群馬ブロック協議会
青年会議所名*	一般社団法人藤岡青年会議所
担当役職*	副理事長
担当者氏名*	黒澤 亮
フリガナ*	クロサワ リョウ
推薦理由* (200 文字以内)	紹介同様